

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年02月04日

計画の名称	釧路港における安全で利便性の高い港湾環境の形成（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	釧路市											
計画の目標	適切な港湾利用を目的とした港湾施設の計画的な改良により、安全で利便性の高い港湾環境を形成する											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	140	A	140	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	利用に支障をきたしている係留施設（2施設）の改良率を0%（R2）から100%（R6）にする。 係留施設の改良が必要な部分の対策済となった割合を算出する。 改良が必要な部分の対策率（%）=（対策済み延長（m）/計画期間内の改良の必要な延長（m））×100	0%	11%	100%
2	安全な交通を確保するために必要な臨港道路のうち重要幹線（760m）の改良率を0%（R2）から65%（R6）にする。 臨港道路の改良が必要な部分の対策済となった割合を算出する。 改良が必要な部分の対策率（%）=（対策済み延長（m）/計画期間内の改良の必要な延長（m））×100	0%	19%	65%
3	利用に支障をきたしている岸壁の改良率を0%（R2）から24%（R6）にする。 岸壁の改良が必要な延長の対策済となった割合を算出する。 改良が必要な岸壁の延長の対策率（%）=（対策済み延長（m）/改良の必要な延長（m））×100	0%	23%	24%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
釧路市強靱化計画に基づき実施される要素事業：A02-001、A02-002、A02-003、A02-004												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	副港道路改良	L = 5 3 0 m	釧路港・東港区						59		策定済	
	A02-002	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	南新埠頭南側ドルフィン改良	上部工・下部工改修 L=12m	釧路港・東港区						26		策定済	
	令和3年度より重点へ移行																			
	A02-003	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	第4埠頭東側-10.0m岸壁改良	基礎捨石補修 L = 9 3 m	釧路港・西港区						11		策定済	
	A02-004	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	第2埠頭南側-12.0m岸壁改良	第2埠頭岸壁 L = 1 , 1 6 0 m	釧路港・西港区						44		策定済	
												小計						140		
												合計						140		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	9				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	9				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	8				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	1				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	11.11				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	入札差金				

(釧路市・港湾) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	釧路港における安全で利便性の高い港湾環境の形成 (防災・安全)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	釧路市

